

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公表番号】特表2006-523726(P2006-523726A)

【公表日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-041

【出願番号】特願2004-568031(P2004-568031)

【国際特許分類】

C 08 F 8/00 (2006.01)

C 08 F 299/00 (2006.01)

A 61 K 6/083 (2006.01)

【F I】

C 08 F 8/00

C 08 F 299/00

A 61 K 6/083 500

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月29日(2006.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エチレン系不飽和側基を含む非末端モノマー単位および共重合N-イソプロピルアクリルアミドを含む反応性ポリマー。

【請求項2】

前記エチレン系不飽和側基は(メタ)アクリレート基を含む、請求項1に記載の反応性ポリマー。

【請求項3】

モノマー単位の全重量を基準にして、エチレン系不飽和側基を含む非末端モノマー単位1重量%~90重量%および

モノマー単位の全重量を基準にして、共重合N-イソプロピルアクリルアミド1重量%~99重量%

を含む反応性ポリマー。

【請求項4】

高分子主鎖に結合された少なくとも3個のエチレン系不飽和側基および式-C(=O)NHC(H₃)₂の複数個の側基を有する前記高分子主鎖を含む反応性ポリマー。

【請求項5】

前記エチレン系不飽和側基は(メタ)アクリレート基を含む、請求項4に記載の反応性ポリマー。

【請求項6】

反応性ポリマーを調製する方法であって、
N-イソプロピルアクリルアミドおよびヒドロキシ官能性(メタ)アクリレートモノマーを含むモノマーを共重合して、ヒドロキシ官能性ポリマーを生成させる工程および
(メタ)アクリレート官能性イソシアネート、(メタ)アクリレート官能性エポキシド、
ビニルアズラクトンおよびそれらの組み合わせからなる群から選択されたヒドロキシ反応性材料と前記ヒドロキシ官能性ポリマーを反応させる工程

を含む方法。

【請求項 7】

反応性ポリマーを調製する方法であって、
N-イソプロピルアクリルアミドおよびビニルアズラクトンを含むモノマーを共重合して
、アズラクトン官能性ポリマーを生成させる工程および
前記アズラクトン官能性ポリマーをヒドロキシ官能性(メタ)アクリレートと反応させる
工程

を含む方法。

【請求項 8】

重合N-イソプロピルアクリルアミドを含むポリマーおよび
歯科用添加剤
を含む口腔環境内で用いるために適する歯科用組成物。

【請求項 9】

エチレン系不飽和側基を含む非末端モノマー単位および共重合N-イソプロピルアクリ
ルアミドを含む反応性ポリマーならびに
水
を含む組成物。

【請求項 10】

前記エチレン系不飽和側基は(メタ)アクリレート基を含む、請求項9に記載の組成物
。

【請求項 11】

開始剤を更に含む、請求項9に記載の組成物。

【請求項 12】

歯科用組成物の全重量を基準にして、エチレン系不飽和側基を含む非末端モノマー単位
と共に重合N-イソプロピルアクリルアミドを含む反応性ポリマー1重量%~99重量%お
よび
水
を含む組成物。

【請求項 13】

表面上で組成物を硬化させる方法であって、
水とエチレン系不飽和側基を含む非末端モノマー単位および共重合N-イソプロピルアクリ
ルアミドを含むポリマーを含む反応性熱応答性粘度調整剤とを含む熱応答性組成物を低
粘性状態において前処理温度で前記表面に被着させる工程、
前記組成物を放置して処理温度に暖めるとともに熱応答を示させる工程および
前記反応性熱応答性粘度調整剤を反応するように誘導する工程
を含む方法。

【請求項 14】

重合N-イソプロピルアクリルアミドを含むポリマー、
前記ポリマーとは異なる重合性成分および
水
を含む熱応答性組成物。

【請求項 15】

表面上の硬化された組成物を調製する方法であって、
重合N-イソプロピルアクリルアミドを含むポリマー、
前記ポリマーとは異なる重合性成分および
水
を含む熱応答性組成物を低粘性状態において前処理温度で前記表面に被着させる工程、
前記組成物を放置して処理温度に暖める工程および
前記重合性成分を重合するように誘導する工程
を含む方法。